

日本共産党 葛飾区議団だより

発行 日本共産党
葛飾区議会議員団
3695-1111 (内2821)
責任者 濱川ひとし

日本共産党区議団の
ホームページをごら
んください。

<http://www.cpi-media.co.jp/jcp-katusika/>



区内の公園の砂場の放射線測定をする中江秀夫区議(左)と和泉なおみ党都政対策委員長(右)

二三区で一番放射線量が高いといわれる葛飾区。日本共産党区議団は、今議会一ヶ月の会期を通じて、区民とともに取り組んだ運動をもとに区の姿勢を変えてきました。

区の施策は、少しずつ前進はしているものの、お

父さんお母さんたちの心配に照らして、まだまだ不十分と言わなければなりません。

区は「都の施設だから」という理由で、水元公園の測定をしてくれませんでした。最近になってようやく測定をおこないました。しかし、あの広大な公園内で測定を行ったのはたった六箇所です。

また、「青空の会」が行った測定結果(二三一箇所、最高で毎時五・四七マイクロナンベルト)にもとづく区長への要請を受け、区は三十一箇所の区道も測定しました。結果は、最高で〇・六七であるのに「日常生活に影響を及ぼすレベルの数値ではない」と放置したままです。青空の会がおこなった民有地もふくめきめ細かな測定を行うとともに、除染などの必要な対策を急いで講じるべきです。

子どもの給食食材の測定に

ついても、ようやくとりくみ

始めたところ。しかし、

現状では牛乳は一回だけ、食

材の測定はたった二十六件、七十四ある小中学校で十三校でしか実施しないというものです。

にいた立場とはいえません。日本共産党区議団は、いま区民と一緒に公園などの独自の放射線量測定に全区議がとりこんでいます。

雨どい、滑り台の着地点なども測りだし、態度が変わってきたように見えます。党区議団は、ひきつづき区を動かし区民の健康、とりわけ子どもたちの命と健康を守る施策実現のために全力で取り組んでいく決意です。

つめこみはやめ、 認可保育所増設の計画改善を

九月二日、民主党政権は来年四月から二〇一五年三月までの三年間の時限措置として一部の自治体に対して、認可保育所の面積に関する基準緩和を特例的に認めることを告示しました。対象となる自治体に本区も含まれています。

ことになり、待機児童は減るかもしれませんが、「重大な事故が起きるのではないかなど、保育関係者から不安の声が上がっています。

面積基準の緩和は行うべきではないとただしました。これに対し区は、「実施する考えはない」ことを明らかにしました。また、党区議団は区の計画の甘さを指摘し、実情に合った認可保育所の増設を議会ごとにと求めてきましたが、今議会では、実情に合うよう計画の見直しを行うことを明らかにしました。大きな前進といえます。

保育園にはもっと ゆとりがなければ

以前は、子どもの成長のために保育所の面積基準はもっと広かったのです。

本来、人間の生活で食べるところは食堂、寝るところは寝室です。でも、今は保育園の子ども達は、遊び場も寝室も食堂もすべて同じ部屋です。

本当ならもっと広い部屋が必要なんです。ゆとりがなければ子どもの発達には保障できないと思います。

元私立保育園園長 Kさん談

今議会において、区民の声を反映するように、無所属を含めて民主党を除くすべての党派により、「新システム」に異議を唱える意見書が採択されました(地域政党葛飾は退席)。党区議団は、これからも充実した保育実現のためにみなさんと一緒に力を合わせます。



23区で一番高い放射線、 子どもたちの健康を守ろう

区役所建替えより区民の命を守る 災害に強い街づくりを

首都直下型地震による葛飾区の被害想定は、二三区の中でも建物倒壊数、火災延焼面積の被害が大きく、死者はもつとも多いと想定されている。さらに避難した区民のため、避難所が七万人分以上不足するの二三区では、葛飾区だけになっています。

区地域防災計画には、建物の耐震化や不燃化の促進などの減災目標が掲げられているものの、その具体化は明確ではありません。

日本共産党区議団は、建物の耐震化促進のための助成制



石巻市の仮設住宅に支援物資を届ける共産党のボランティア

度を提案し、五年前に実現させました。また、この間助成制度の拡充を求め、九月から高齢者・障害者等は耐震診断の無料化、改修助成額は一二〇万円に増額させることができました。さらに第三回定例会では、新基本計画に耐震化などの減災目標とその具体化を位置付けるよう求めたところです。

災害時の避難所を確保することも重要な課題であり、避難所となる学校の安全性も問われます。区は、区役所建替

えは強引に進めようとしています。区役所と同じ時期、あるいはそれより古い時期に建てられた学校は十三校あります。しかし、その校舎の建替え計画はなく、昨年度の決算によれば、校舎建替え等のための積立額を減らした一方で、区役所建替え基金を増やしたので、これでは本末転倒です。

区役所は耐震補強も行う、法に基づく耐震構造指針も満たしています。災害から区民の命と財産を守ることは区政の最大の使命であり、区役所建替えより住宅の耐震化、避難所となる学校の安全性確保を優先させるべきです。

4年連続 高齢者福祉費二三区最低 特養増設・紙おむつ支給など改善を

今定例会では、決算額で葛飾区の高齢者福祉費の占める割合が、二三区のなかで四年連続で最低であったことが明らかにになりました。こうした恥ずかしい記録を更新したのは、高齢者にかかわる切実な区民要求に背を向け続けている結果です。

決算委員会の質疑で、特別養護老人ホームに入所を希望している方が、直近の三年間をみても一六〇人以上増加していること、なかでも毎年

二〇〇人近くの方が入所待ちのまま亡くなっていることが明らかになりました。党区議団は、増設計画が実態とかみ合っていないことを指摘し、増設を求めました。

紙おむつ支給の制限は、非課税世帯で要介護四、五に限定しているため、これもまた二三区内で最低水準です。決算の資料として配布されている監査委員会の意見でも「紙おむつの支給は、利用しやすい改善すること」と異例の

意見が付されています。したが、決算委員会の質疑の中では、区からまともな答弁はありませんでした。

特別養護老人ホームを増やし、高齢者にかかわる諸制度を良くすることが、高齢者福祉費二三区最低という恥ずかしい税金の使い方を変え、確かな力になります。

首都直下型地震による葛飾区の被害想定（午後6時、M7.3の場合）

建物全壊棟数	13,116 棟	全体の 12%が全壊
消失面積	13.05 km ²	全体の 37.4%が消失
死者	696 人	23 区で最も多い
負傷者数	9,067 人	人口比率で 23 区で最も多い
避難者数	284,776 人	人口比率で 23 区で 2 番目に多い
避難所不足数	70,000 人以上	7 万人分不足するのは 23 区で葛飾区のみ



第三水曜日

中村しんご区議
090-8686-12671



第二木曜日

三小田准一区議
090-8040-1181



第四水曜日

中江秀夫区議
090-2176-15756



第一水曜日

渡辺キヨ子区議
080-6700-15960



第二金曜日

おりかさ明区議
090-3524-16719



第三金曜日

仙波みのる地域
080-3765-17806



党都政対策委員長

和泉なおみ 社会福祉労士
03-3697-12101

無料生活
法律相談

区内で週に1回、面談の割合で無料生活法律相談を行います。震災についても相談下さい。（事前に連絡をお願いします）

